

## 令和6年度 事業計画

### 【基本方針】

我が国の人口減少・少子高齢化は、依然として歯止めがかからず、その著しく高い高齢化率（29.0%、前年度比+0.1%）や、調査以来の最低値となった出生率（1.26%、前年度比-0.04%）等が示すように、世界でも類を見ないレベルで進行している。そして、これ以上に少子高齢化が進めば、経済・社会システムが維持できず、国の存続に繋がる大問題になると警鐘が鳴らされ続けている。

これに対して政府は、「一億総活躍社会」の実現こそが閉ざされた未来への扉を開く鍵であると提唱し、強い経済を取り戻し、そして安心して子育てができる社会基盤を創りあげるため、「ニッポン一億総活躍プラン」や「働き方改革実行計画」など、様々な施策を実行しているが、とりわけ重要視されている労働力の確保や地域共生社会の創出等に対しては、高齢者の活躍に大きな期待が寄せられている。

シルバー人材センターは、その大きな役割と責務を果たすため、働く意欲のある高齢者が地域社会で生きがいを持って活躍できるように、会員や企業と協力して各種事業を展開することが必要である。そして、センターの更なる発展のため、特に女性や団塊世代の退職により増加していく活力ある高齢者を新たな会員として迎えることが重要となる。

しかしながら、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」（高齢法）の改正（令和3年4月施行）により、70歳までの就業確保の努力義務が企業に課せられたことや、「適格請求書等保存方式」（インボイス制度）の導入（令和5年10月）により、新たな税負担が生じたことなどは、新規会員・就業機会確保への対応、そして会員の高年齢化の進行に大きな影響を与えるものと考えられる。会員数は運営の根幹であるため、これらの課題を乗り越え、最終年度である「第2次会員100万人達成計画」の新目標値達成に向けて、今後も会員数の増加に努めていく必要がある。なお、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（フリーランス・事業者間取引適正化等法）の施行（令和6年秋予定）を見据え、発注者から会員へ直接業務委託契約を結ぶように契約方法を見直すことで、課題の1つとして挙げた「適格請求書等保存方式」に対しては、センターや会員に新たな税負担が生じない仕組み等の構築に向け、注力しているところである。

以上のように、様々な課題はあるものの、実に3年にわたって猛威を振り続けた新型コロナウイルス感染症にもようやく収束（令和5年5月 緊急事態宣言終了）の様相が見え始めたことは、非常に明るいニュースである。社会経済の回復は、就業機会の確保・拡大はもとより、その多様な企業ニーズから適正就業、安定就業にも繋がることから、会員数の増加も期待できる。令和6年度も、この地域に居住する高齢者の誰もが健康で生きがいのある生活を実現できるよう、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、地域社会の福祉の向上と活性化への貢献のため、多様な事業を推進していくものとする。

## 【事業計画】

### 1 雇用によらない適正就業機会提供事業

- (1) 地域社会の日常生活に密着した仕事や市民生活に関わりの深い仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これを会員に対して、その能力や希望等に応じて提供する。
- (2) 会員の希望、能力等に応じて公平に就業機会の提供を行う。  
面談等により希望業務の把握に努めると共に、就業実績の少ない会員を優先に仕事を紹介する。又、出来るだけ多くの会員が就業機会を得られる様、ローテーション体制を確立し、ワークシェアリングを基本とした就業を進める。
- (3) 信頼され「安心して任せられる法人」として、依頼者に満足して頂けるよう努める。
- (4) 役職員、会員が一体となり公共団体や企業、個人からの受注に努め、就業率の向上に努める。
- (5) 適正就業ガイドラインの周知、徹底を図る。

### 2 雇用による適正就業機会の提供事業

#### (1) 職業紹介事業

センターが企業等からの仕事の求人を受け付け、これを希望する高齢者に紹介する。

#### (2) 一般労働者派遣事業

派遣労働者を希望する者を対象に「高齢者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律」に基づき、派遣元事業主として、会員の適正な雇用管理のもと、集合研修方式又は自宅学習方式により派遣教育義務訓練を実施する。又、派遣先事業所の開拓を行う。

### 3 安全・適正就業事業

高齢者がセンターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を行ない、就業途上及び就業中の事故撲滅を目指す。

- ・会員の健康状態や能力に応じた仕事を提供し、健康の維持・安全の確保を図りつつ、仕事の遂行を支援する。
- ・事故ゼロを目標に、安全就業対策会議及び安全パトロールの実施を強化する。
- ・安全保護具等の装着徹底
- ・会員の健康管理の重要性を周知する。
- ・会員に平等な就業機会を提供するため、ローテーション就業を実施し、特定会員の長期的・継続的就業の解消や未就業会員の解消に努める。
- ・会員自らが草刈り等の作業現場の見積り等を行うなど、事務局と連携を図る。
- ・事故発生状況を把握・分析し、安全就業講習会や機械取り扱い講習会の実施等により会員に周知・徹底を図り再発防止に努める。
- ・就業途上の交通事故などを未然に防ぐ為、安全運転講習又は診断を実施する。

#### 4 普及啓発事業

シルバー事業の目的、理念、仕組み、活動等について、高齢者の就業促進の為、非会員高齢者に対して周知を図ると共に、就業分野の開拓・拡大の為、一般市民、事業所、官公庁に対しても周知を図る。

- ・瑞穂市役所へのチラシ配架
- ・「広報みずほ」等へ広告を掲載し、事業への理解と協力を謳う。
- ・ホームページにて活動内容や情報提供を掲載し、受注拡大・会員拡大に努める。
- ・役職員による事業所の訪問等により、顧客ニーズの把握に努め、就業機会提供につなげる。

#### 5 交流・研修・講習事業（知識及び技能を付与するための講習事業）

地域において、就業意欲のある高齢者に就業上必要な技能や知識を付与する。

- ・各種講習会・研修会を随時開催し、会員のレベルアップに努める。
- ・経験豊富な会員を中心に、技術・技能や経験のノウハウの伝承を行い、後継者育成に努める。
- ・各種研修会による会員及びセンター役職員の資質向上に努め、シルバー事業のイメージアップと活性化を図る。
- ・県連合会が主催する高齢者活躍人材確保育成事業や各種研修会などへの役員や職員等の参加及び他の団体等が行う資質向上の各種講習会等へ積極的に参加する。
- ・新入会員研修の開催
- ・安全・適正就業講習会の開催
- ・交通安全教室の開催
- ・刈払機等取扱講習会の開催
- ・樹木剪定講習会の開催

#### 6 調査研究事業

先進地のシルバー人材センターを視察し、各種事業への取り組み状況、業務運営方法などを研修し、今後の取り組みに役立てる。

また、会員の希望する就業等を聞き取り調査するとともに、発注事業所等には、仕事上の問題点や要望事項等について聞き取り調査する。

- ・先進シルバー人材センターの視察・研修を行い事業拡大に努める。
- ・顧客へのアンケート調査実施と分析

#### 7 組織強化事業

センター事業の円滑な推進を図るために、多くの会員による組織化された運営体制の確立と会員自らが就業に取り組む意識向上を図る。

- ・ハローワーク岐阜への入会説明会開催案内チラシ配架
- ・会員による一人1会員入会活動の実施
- ・入会希望者への速やかな入会承認と早期就業機会の提供

- ・就業相談の実施と未就業会員の就業促進
- ・高齢者活躍人材確保育成事業の活用
- ・会員が会員自身の組織と考え、総会への出席率アップにつながる様、会員の意識向上を図る。
- ・奉仕活動を通じて、シルバー事業に対する社会的理解を深める。
- ・理事会及び各種委員会等の活性化
- ・役員や会員、事務局職員の交流の場の提供
- ・永年会員者、在職者等への表彰の実施
- ・退会抑止の取り組み

#### 8 相談、情報提供事業

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、地域内で働く意思のある高齢者のために、センターの事業内容の紹介及び雇用、就業職業能力開発等に係る相談や情報提供を行う。

#### 9 ボランティア活動

地域社会への還元として、ボランティア活動を年1回以上実施し、地域に密着したシルバー人材センターになるよう努める。

#### 10 運営の健全化・事務局体制の充実

公益社団法人としての的確な運営と財政基盤の強化に努め、事務局職員の資質の向上とデジタル活用による効率的で正確・迅速な業務処理ができる様、スキルアップを図る。

## 令和6年度 行事等計画

	理 事 会 等	行 事 等	連 合 会 等
4月	決算監査	会員募集広告(広報) 草刈り(刈払い機等)研修 柿の木摘蕾研修	
5月	理事会		事務局長会議
6月	総会 理事会	柿の木摘果研修 ボランティア活動	東海シ協総会・研修会 県シルバー総会
7月			安全就業推進大会
8月	理事会	安全・衛生・適正就業研修	
9月		会員募集広告(広報) 剪定研修(庭木)	
10月		新入会員研修	役職員研修会
11月	理事会		理事長会議
12月			事務局長会議
1月		剪定研修(柿木)	
2月	理事会	安全・衛生・適正就業研修	経理研修会
3月	理事会	会員募集広告(広報) 新入会員研修	事務局長会議